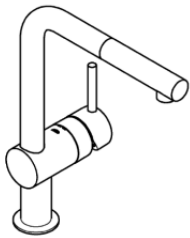
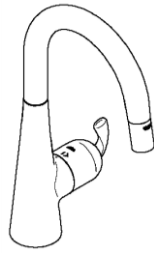


シングルレバーキッチン混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

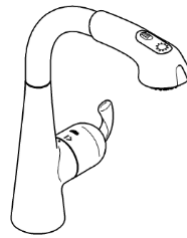
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法お手入れの仕方を説明してください。
- この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。



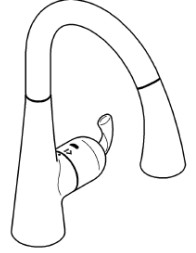
ミンタ(L型)



ゼドラ(スプレー切替タイプ)
ミンタ(U型、O型)

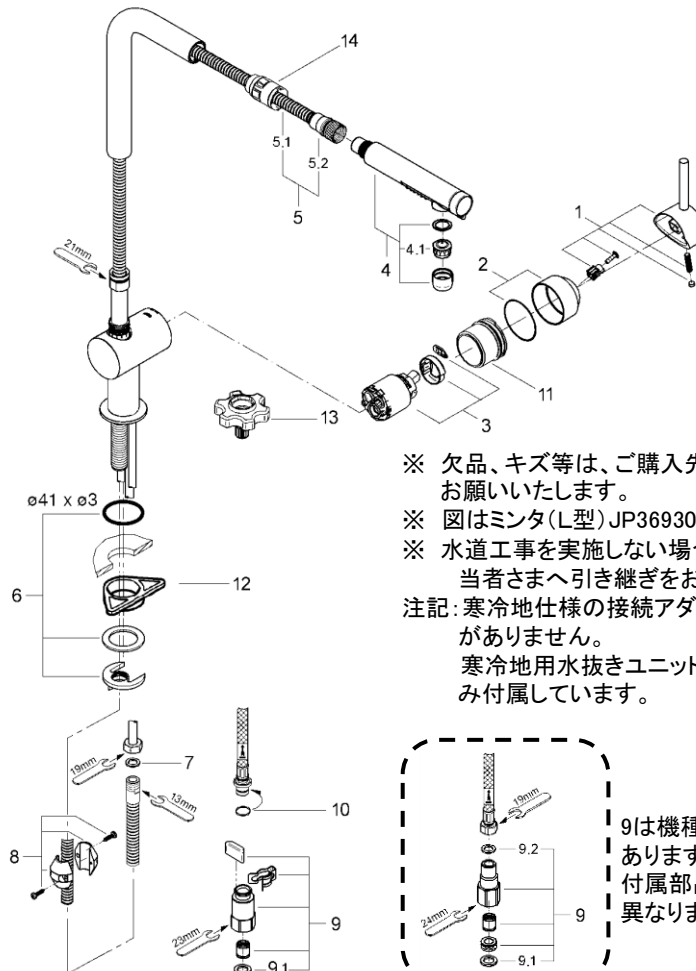


レディラックスプラス



ゼドラ
(シャワー切替タイプ)

図番	名称
1	レバー
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
4	ハンドスプレー
4.1	マウザー
5	キッチンホース
5.1	Oリング
5.2	袋ナット
6	締付セット
7	ホースパッキン
8	おもり
9	クイックソケット
9.1	1/2パッキン
10	Oリング
11	カートリッジ止めナット
12	三角補強板
13	工具
14	ホースホルダー



- ※ 欠品、キズ等は、ご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。
 - ※ 図はミンタ(L型)JP369301です
 - ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- 注記: 寒冷地仕様の接続アダプターには、逆止弁がありません。
寒冷地用水抜きユニットは寒冷地仕様のみ付属しています。

9は機種により異なる部品があります。
付属部品により接続方法が異なりますのでご注意下さい。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバーハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

◇ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合

最低必要圧力A+0.07MPa[0.7kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されております。

開閉レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度40℃)によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度(60℃)設定です。温度設定は60℃以上で使用しないでください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●使用する工具は、対面巾21mmソケットレンチ(本体固定)、対面巾24mmスパナ(接続アダプター)

対面巾13・18・19・mmスパナ(ホース)、プラスドライバー(おもり)、対面巾32・23mmスパナ・プライヤー(寒冷地)

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。水切カバー(棚)に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

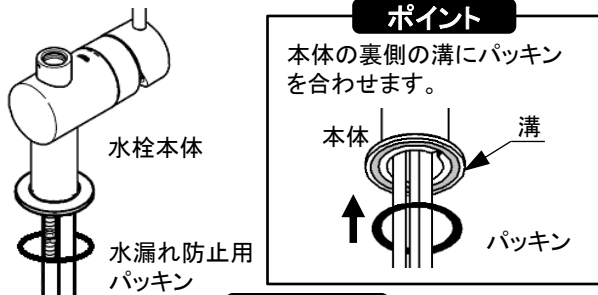
●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●逆止弁(接続)アダプターの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 本体の準備

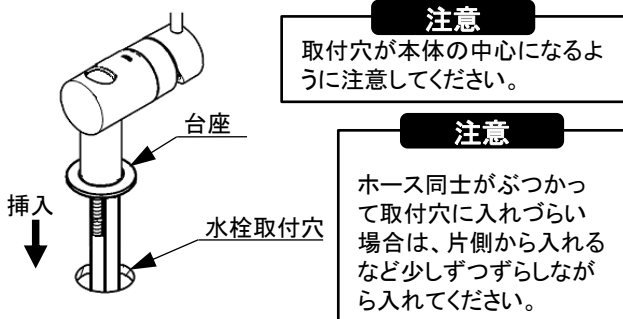
1. 本体に水漏れ防止用パッキンを取り付けます。



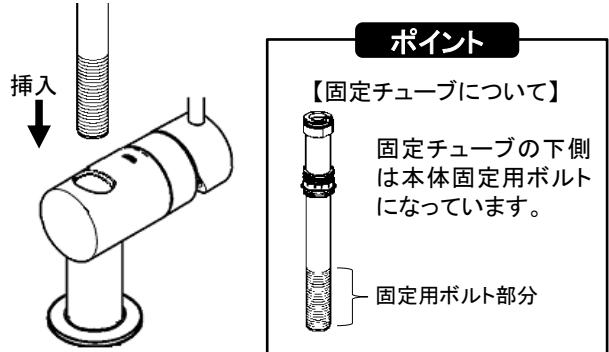
注意

パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

2. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。

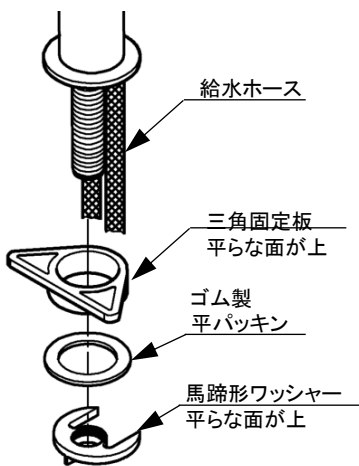


3. 固定チューブを本体に差し込みます。



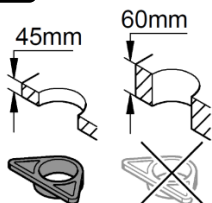
2. 本体の固定

1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーをカウンター下からホースに挿入します。

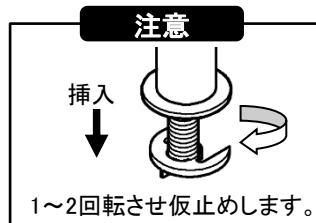


注意

カウンター厚みが60mm以上の場合、三角固定板はご使用出来ません。
馬蹄形ワッシャーでしっかりと固定してください。



2. 固定チューブを手で回し、馬蹄形ワッシャーに仮止めします。



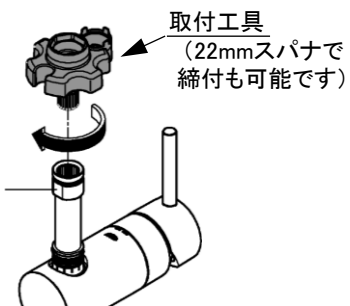
3. 取付工具を使って、固定チューブをしっかりとねじこみます。

ポイント

水栓本体の台座と馬蹄形ワッシャーが、カウンターをはさみ込み、固定されます。

注意

三角固定板・馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていることを確認してください。



確認

固定チューブをしっかりとねじ込んだ後、必ず22mmスパナで増し締めします。
締付後、本体にグラつきがないことを確認して下さい。

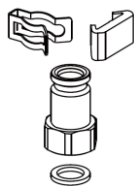
据付手順

3. 給水・給湯ホースの接続

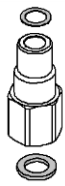
給水・給湯ホースの接続部品は機種により異なります。
同梱の部品を確認の上、正しく接続してください。

ポイント

クイックソケットと接続アダプターは付属品が異なります。



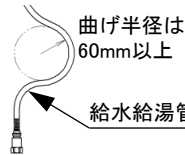
【クイックソケット】
・アダプター
・固定クリップ
・抜け止めカバー
・パッキン



【接続アダプター】
・接続アダプター
・ホース用パッキン
・止水栓用パッキン

注意

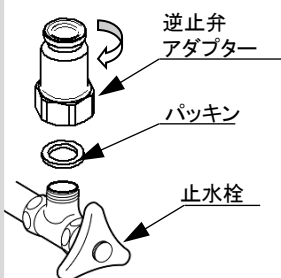
- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
 - ・給水・給湯同士が接触しないよう、注意してください。
 - ・リングのキズやゴミかみに注意してください。
 - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
- ※漏水の原因になります。



曲げ半径は
60mm以上
給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ
半径60mm以上確保してください。
※漏水の原因となります。

クイックソケットの接続方法

1. クイックソケットを止水栓に固定します。



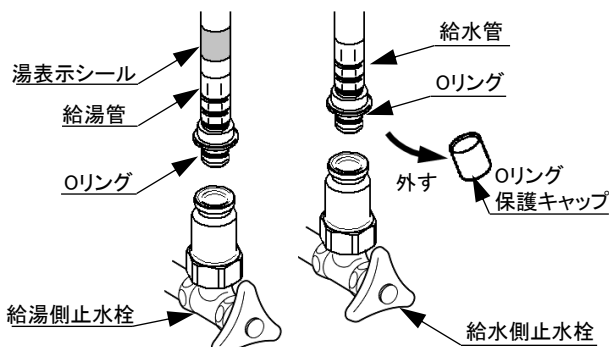
注意

寒冷地用は
部品が異なります。

注意

締付は200～300kgf・cmの
トルクで行ってください。
初期の締付が弱いと漏水の
原因になります。

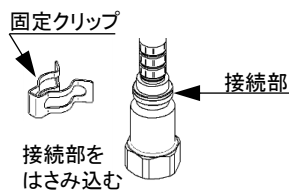
2. 給水・給湯管をクイックソケットに差し込みます。



注意

・リングのキズやゴミかみに注意してください。
※漏水の原因になります。

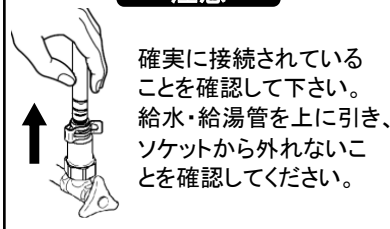
3. 固定クリップを給水／給湯管と接続アダプターの接続部にはめ込みます。



注意

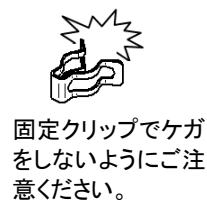
・給水・給湯管の不要な接触は避けてください。
※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。
・固定クリップはしっかりはめ込んでください。
※漏水の原因になります。

注意



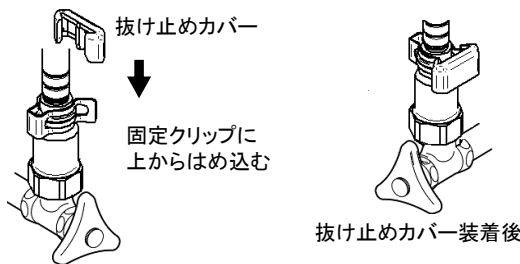
確実に接続されていることを確認して下さい。
給水・給湯管を上へ引き、ソケットから外れないことを確認してください。

注意



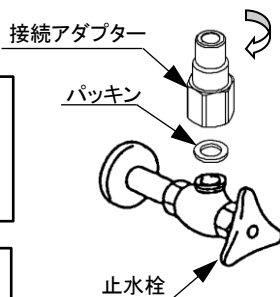
固定クリップでケガをしないようにご注意ください。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



接続アダプターの接続方法

1. 接続アダプターを止水栓に固定します。



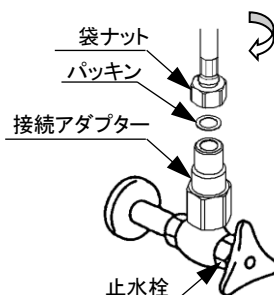
注意

締付は200～300kgf・cmの
トルクで行ってください。
初期の締付が弱いと漏水の
原因になります

注意

寒冷地用は
部品が異なります。

3. 給水・給湯管の袋ナットを接続アダプターに接続します。



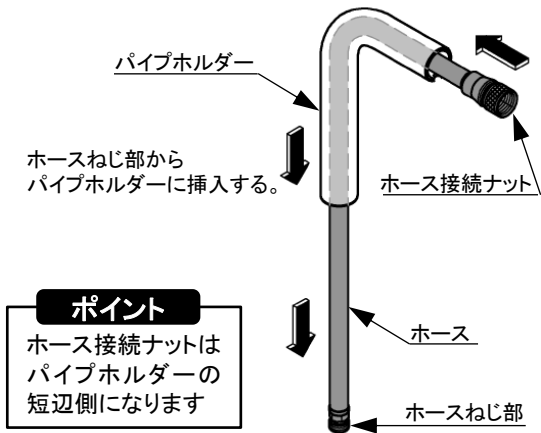
注意

・給水・給湯管の不要な接触は避けてください。
※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

据付手順

4. パイプホルダーの取付け

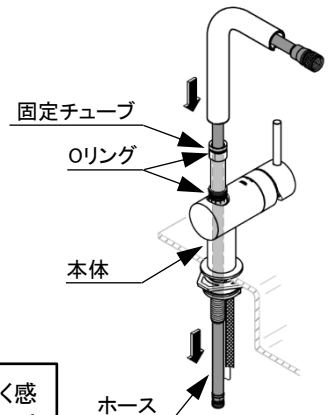
1. パイプホルダーにホースを挿入します。



ポイント

ホース接続ナットはパイプホルダーの短辺側になります

2. 固定チューブにホースを挿入していき、パイプホルダーを取付けます。



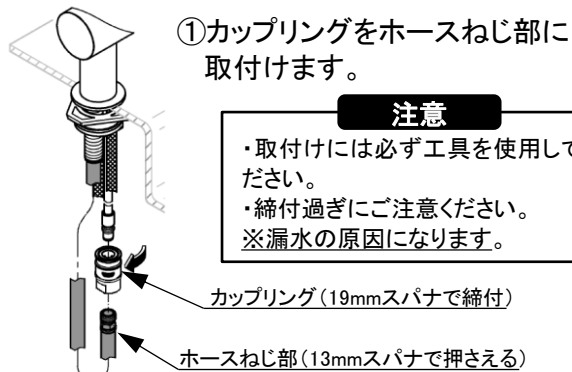
ポイント

パイプホルダーの回転が重く感じる場合は、固定チューブのOリングヘグリスを塗布してください。

5. 本体の吐水管とホース接続

ホースと吐水管を接続します。※接続方法は付属部品により異なります。

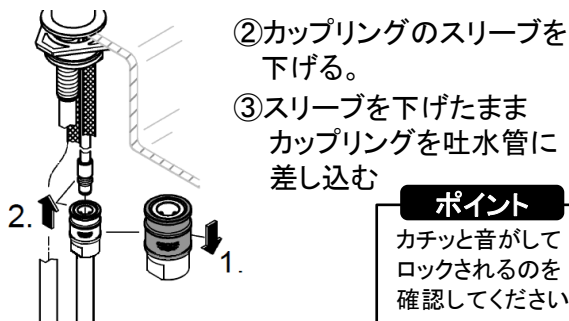
カップリング仕様の場合



①カップリングをホースねじ部に取付けます。

注意

・取付けには必ず工具を使用してください。
・締付過ぎにご注意ください。
※漏水の原因になります。



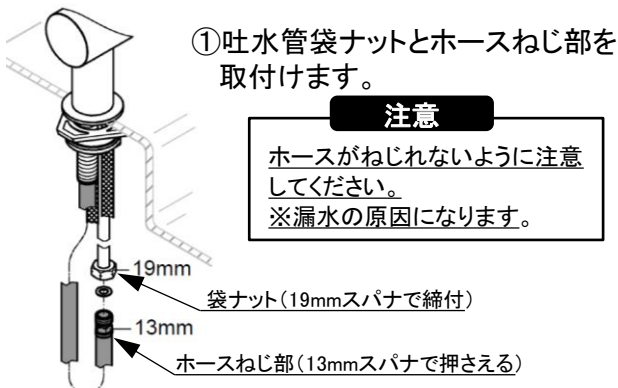
②カップリングのスリーブを下げる。

③スリーブを下げたままカップリングを吐水管に差し込む

ポイント

カチッと音がしてロックされるのを確認してください。

袋ナット仕様の場合



①吐水管袋ナットとホースねじ部を取付けます。

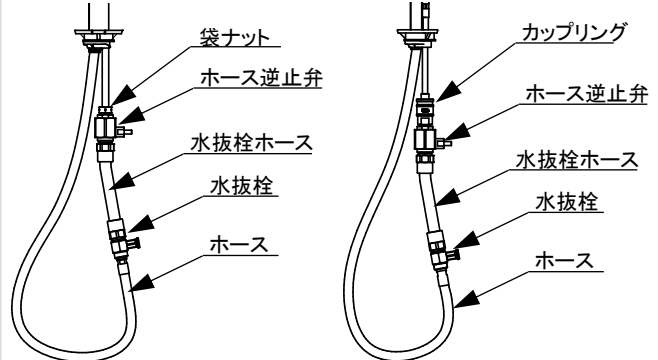
注意

ホースがねじれないように注意してください。
※漏水の原因になります。

寒冷地仕様の場合

寒冷地用は、カップリングもしくは袋ナットとホースの間にホース逆止弁、水抜き栓を取付けます。

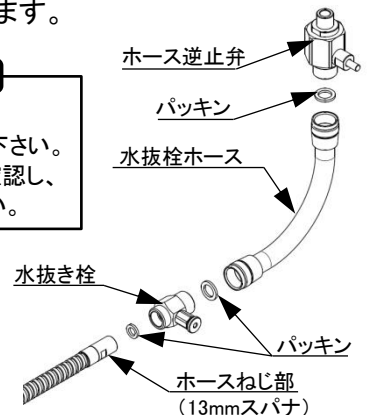
【袋ナット寒冷地仕様】 【カップリング寒冷地仕様】



①ホースに、水抜き栓、水抜き栓ホース、ホース逆止弁の順に取付けます。

注意

・取付時は工具等でしっかり締めつけて下さい。
・パッキンはサイズを確認し、必ず取り付けて下さい。

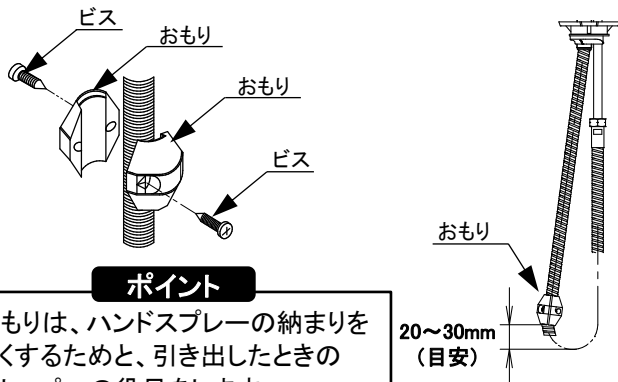


②ホース逆止弁に、袋ナットまたはカップリングを取付けます。

据付手順

6. ホース用おもりの取付け

1. おもりをホースに両側からはさみ、ビスで固定します。



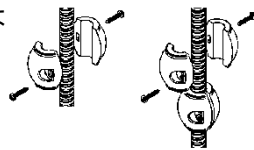
ポイント

おもりは、ハンドスプレーの納まりをよくするためと、引き出したときのストッパーの役目をします。

注意

ゼドラ(シャワー切替タイプ)の場合

おもりを1つ取付けてもホースが収まりにくい場合は2つ目のおもりを取付けてください。

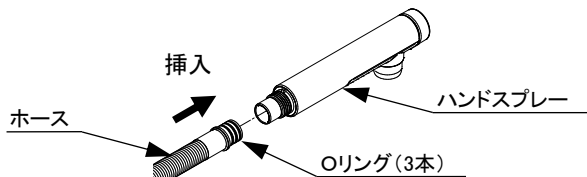


ポイント

・おもりの取付けは、引出ホース下部の曲げ位置から20~30mmシャワーヘッド側を目安とし、おもりの干渉や収まりを確認して調整してください。

7. ハンドスプレーの取付け

1. ホースをハンドスプレーに差し込みます。



注意

Oリングがハンドスプレーにきちんと入るまで差し込みます。

注意

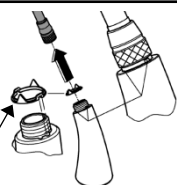
ストレーナーが付属している場合は、ハンドスプレーとホースの間に取付けてください。

注意

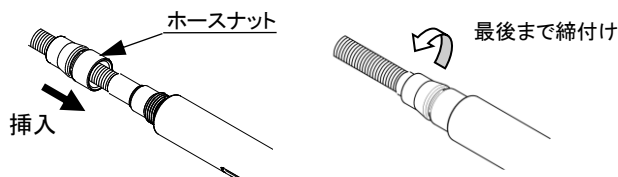
【ゼドラ(シャワー切替タイプ)の場合】

ホースとハンドスプレーの間にガイドリングをはめ込んで下さい。

ガイドリング



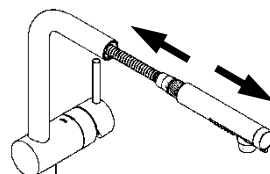
2. ホースナットを締め付けます。



注意

ホースナットがホースの根元に最後まで入っていること。しっかり確実に締めつけて下さい。

3. ハンドスプレーを2~3回出し入れし、ねじれや引っ掛かりがないことを確認してください。



確認

シャワーホースが給水・給湯管と干渉しないことを確認してください。

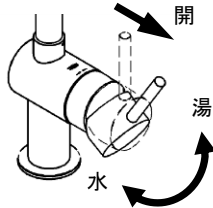
取付後の確認

1. 通水確認

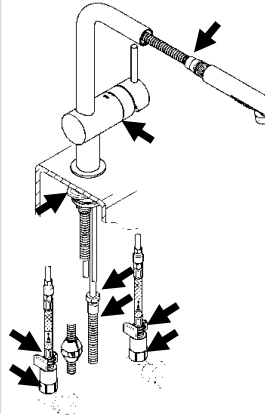
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認します。



3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認します。



注意

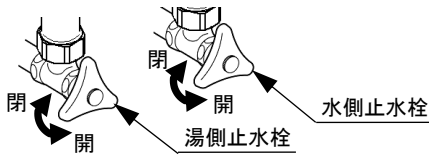
○リングの切れ等が漏水の原因となります。

注意

万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 流量の確認

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

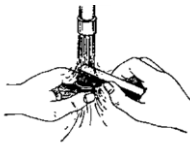


注意

レバーハンドルを全開にしたときシャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。
(※: 1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒)

3. エアレーターの清掃

エアレーターのゴミを取り除きます。



注意

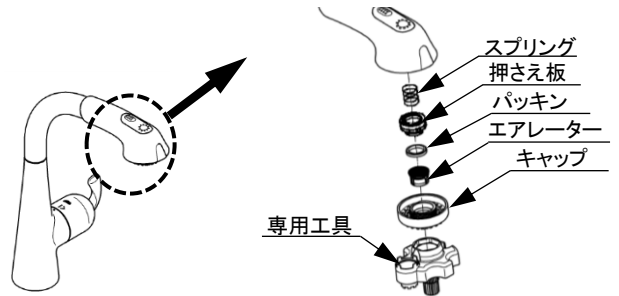
清掃後は、ゴム手袋などを使用して、確実にキャップを締め付けてください。

ポイント

新品時にはシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく水洗いしてください。

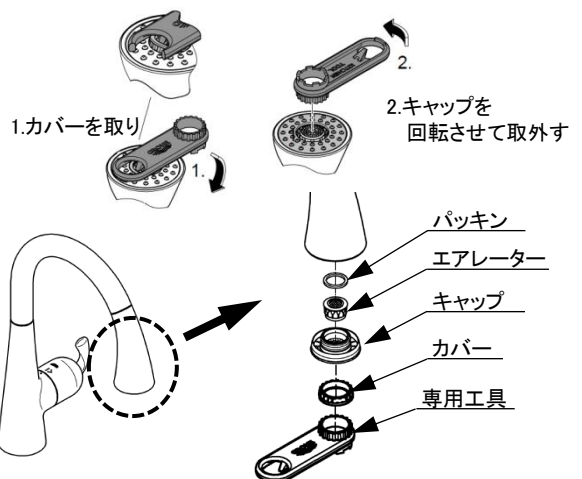
レディラックスプラス

レバーハンドルを止水状態にし、整流器(エアレーター)のキャップを手でゆるめます。



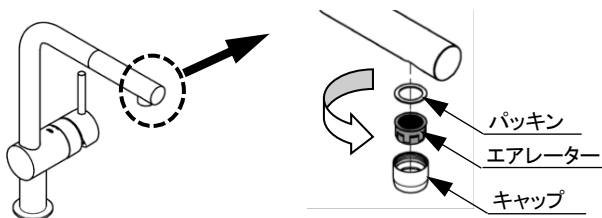
ゼドラ(シャワー切替タイプ)

レバーハンドルを止水状態にし、工具を使用してカバーを取り、キャップを回転させてゆるめます。



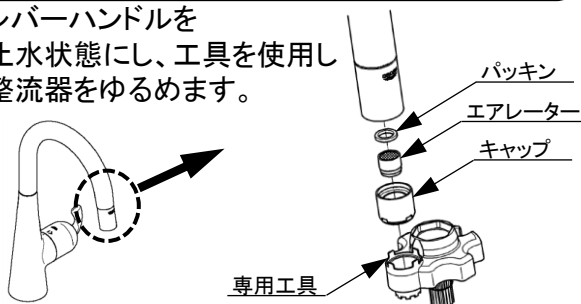
ミンタ(L型)

レバーハンドルを止水状態にし、整流器(エアレーター)のキャップを手でゆるめます。



ゼドラ(スプレー切替タイプ)・ミンタ(U型、C型)

レバーハンドルを止水状態にし、工具を使用し整流器をゆるめます。



取付後の確認

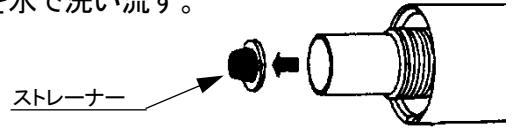
4. ストレーナーの清掃

レディラックスプラス、ゼドラ(シャワー切替タイプ)

1. 止水状態にし、ホースナットを緩めてハンドスプレーを取り外す。



2. ハンドスプレーの中からストレーナーを取外し、ゴミを水で洗い流す。

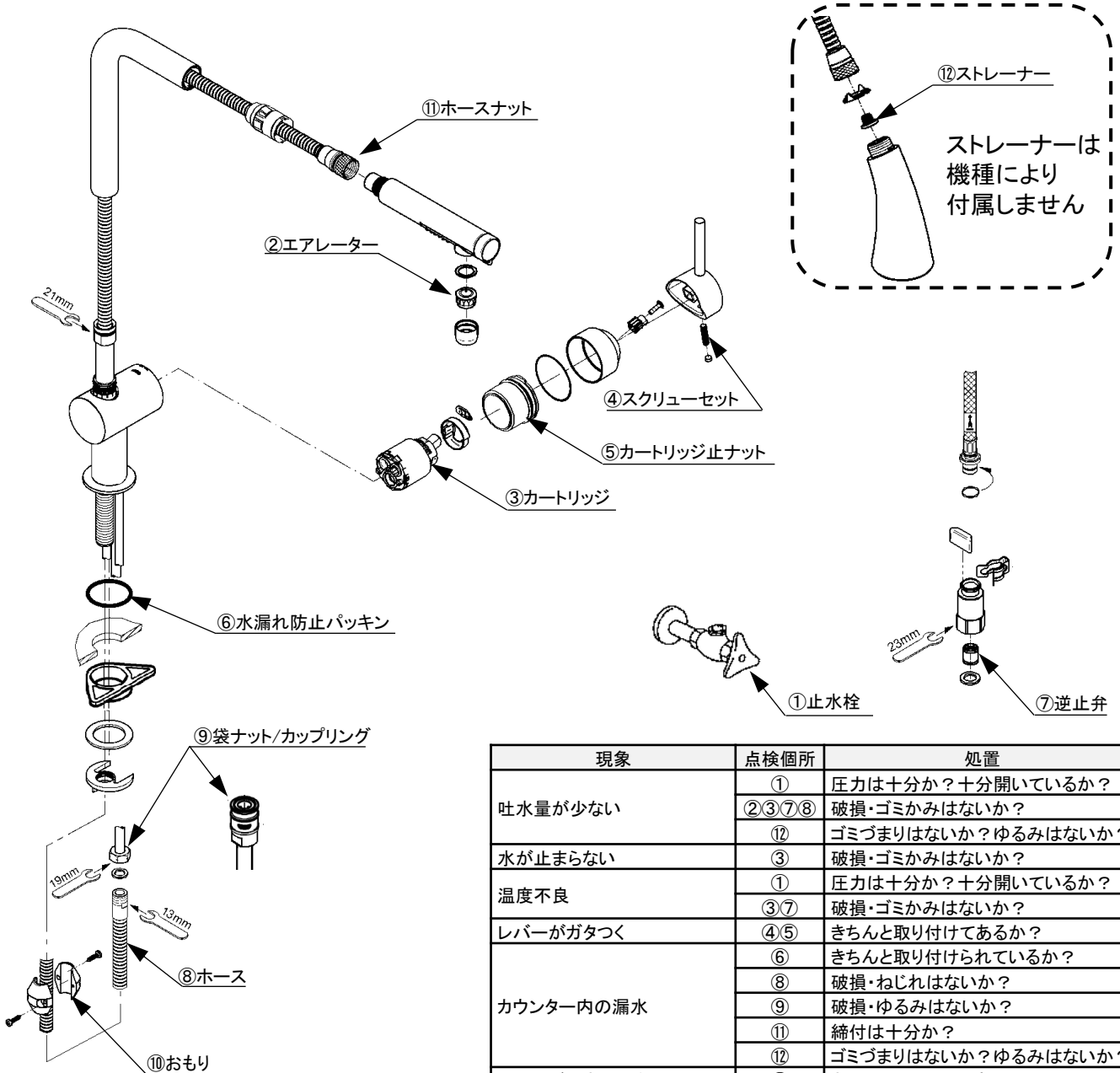


注意

ハンドスプレーの取付けの際は「ハンドスプレーの取付け」の項を確認の上、正しく取付けてください。

故障と点検

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。



ストレーナーは機種により付属しません

現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？ 十分開いているか？
	②③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	⑫	ゴミづまりはないか？ ゆるみはないか？
温度不良	③	破損・ゴミかみはないか？
	①	圧力は十分か？ 十分開いているか？
レバーがガタつく	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
カウンター内の漏水	④⑤	きちんと取り付けてあるか？
	⑥	きちんと取り付けられているか？
	⑧	破損・ねじれはないか？
	⑨	破損・ゆるみはないか？
ホースが引き出せない	⑩	締付は十分か？
	⑫	ゴミづまりはないか？ ゆるみはないか？
	⑩	きちんと取り付けてあるか？

注記：寒冷地仕様には、逆止弁がありません。